

広島県告示第524号

瀬戸内海環境保全特別措置法（昭和48年法律第110号）第5条第1項の規定による特定施設の設置許可の申請があったので、同条第4項の規定によって、その概要を次のとおり告示する。

平成26年7月22日

広島県知事 湯 崎 英 彦

1 申請者の住所及び氏名並びに工場又は事業場の所在地及び名称

申請者の住所及び氏名	東京都千代田区丸の内一丁目1番1号 三菱レイヨン株式会社 取締役社長 越智 仁
工場又は事業場の所在地及び名称	大竹市御幸町20番1号 三菱レイヨン株式会社大竹事業所

2 申請の内容

37 タ炭化水素誘導品の製造業の用に供する廃ガス洗浄施設6基を設置する。

(1) 特定施設の種類、能力及び使用の方法

(その1) 新設

種	類	37 タ 炭化水素誘導品の製造業の用に供する廃ガス洗浄施設 (C-3210)	37 タ 炭化水素誘導品の製造業の用に供する廃ガス洗浄施設 (C-3220)		
能	力	風量 13,900Nm ³ /hr 循環水量 545 m ³ /hr	風量 13,900Nm ³ /hr 循環水量 338 m ³ /hr		
工期等	工事着手予定年月日	許可後直ちに	許可後直ちに		
	工事完成予定年月日	着工後1日	着工後1日		
	使用開始予定年月日	平成27年4月1日	平成27年4月1日		
使用	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)	8ヶ月毎3日間, 24時間 (なし)	8ヶ月毎3日間, 24時間 (なし)		
	項	目	通常	最大	通常

の 方 法	排出される汚水等 の状態	水素イオン濃度 (単位: 水素指数)	1 ~ 6	1 ~ 6	1 ~ 6	1 ~ 6
		化学的酸素要求量	1,000	1,000	1,000	1,000
		浮遊物質質量	50	50	50	50
		窒素含有量	2,900	2,900	2,900	2,900
		リン含有量	3	4	3	4
		アンモニア	3,500	3,500	3,500	3,500
		砒素	150	150	150	150
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m ³)		50	150	-	-
汚水等の排出先		凝集沈殿処理施設(2)		凝集沈殿処理施設(2)		

(その2) 新設

種 類		37 タ 炭化水素誘導品の製造業の用に供する廃ガス洗浄施設 (C-3230)		37 タ 炭化水素誘導品の製造業の用に供する廃ガス洗浄施設 (2C-3210)	
能 力		風量 13,900Nm ³ /hr 循環水量 85.5 m ³ /hr		風量 17,200Nm ³ /hr 循環水量 581 m ³ /hr	
工 期 等	工事着手予定年月日	許可後直ちに		許可後直ちに	
	工事完成予定年月日	着工後1日		着工後1日	
	使用開始予定年月日	平成27年4月1日		平成27年4月1日	
使 用 の 方 法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)	8ヶ月毎3日間, 24時間 (なし)		8ヶ月毎3日間, 24時間 (なし)	
	項 目	通 常	最 大	通 常	最 大
排出される汚水等 の状態	水素イオン濃度 (単位: 水素指数)	1 ~ 6	1 ~ 6	1 ~ 6	1 ~ 6
	化学的酸素要求量	1,000	1,000	1,000	1,000
	浮遊物質質量	50	50	50	50
	窒素含有量	2,900	2,900	2,900	2,900
	リン含有量	3	4	3	4

	ア	ン	モ	ニ	ア		3,500	3,500	3,500	3,500
	の	砒	素				150	150	150	150
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m ³)						50	150	50	150
	汚水等の排出先						凝集沈殿処理施設(2)		凝集沈殿処理施設(2)	

(その3) 新設

種	類	37 タ 炭化水素誘導品の製造業の用に供する廃ガス洗浄施設 (2C-3220)			37 タ 炭化水素誘導品の製造業の用に供する廃ガス洗浄施設 (2C-3230)							
能	力	風量 17,200Nm ³ /hr 循環水量 361 m ³ /hr			風量 17,200Nm ³ /hr 循環水量 164 m ³ /hr							
工期等	工事着手予定年月日	許可後直ちに			許可後直ちに							
	工事完成予定年月日	着工後1日			着工後1日							
	使用開始予定年月日	平成27年4月1日			平成27年4月1日							
使用の方法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		8ヶ月毎3日間, 24時間 (なし)			8ヶ月毎3日間, 24時間 (なし)						
	項 目		通 常		最 大		通 常		最 大			
	排出される汚水の状態	水素イオン濃度(単位: 水素指数)		1~6		1~6		1~6		1~6		
		等	化学的酸素要求量		1,000		1,000		1,000		1,000	
			浮遊物質		50		50		50		50	
			窒素含有量		2,900		2,900		2,900		2,900	
			リン含有量		3		4		3		4	
			アンモニア		3,500		3,500		3,500		3,500	
	の	砒素		150		150		150		150		
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m ³)		-		-		50		150			
汚水等の排出先		凝集沈殿処理施設(2)			凝集沈殿処理施設(2)							

(2) 汚水等の処理の方法

凝集沈殿処理施設 1 基を設置する。

(その 1) 新設

種		類	凝集沈殿処理施設 (2)			
工期等	工事着手予定年月日	許可後直ちに				
	工事完成予定年月日	着工後7ヶ月				
	使用開始予定年月日	平成27年4月1日				
使用の方法	処理前処理後の汚水等の汚染状況	項目	処理前		処理後	
			通常	最大	通常	最大
		水素イオン濃度 (単位: 水素指数)	1~6		5~9	
		化学的酸素要求量	1,000	1,000	1,000	1,000
		浮遊物質	50	50	50	50
		窒素含有量	2,900	2,900	2,900	2,900
		リン含有量	3	3	3	3
		アンモニア	3,500	3,500	3,500	3,500
	砒素	150	150	150	150	
		排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m ³)	7.2	7.2	21.6	21.6

(3) 排水水の汚染状態及び量

変更なし

3 事前評価に関する事項を記載した書面の縦覧期間及び縦覧場所

(1) 縦覧期間

平成26年7月22日から平成26年8月12日まで

(2) 縦覧場所

広島県環境県民局環境保全課及び広島県西部厚生環境事務所環境管理課並びに大竹市市民生活部環境整備課